

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676900113
法人名	医療法人 共生会
事業所名	びろうの樹
所在地	鹿児島県志布志市有明町野井倉6166番地1 (電話) 099 - 474 - 0033
自己評価作成日	平成29年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「 楽しく生活できるようにお手伝いします 」  
「 地域の方との触れ合いを大切にします 」  
「 いつまでも安心して過ごせるように対処します 」  
以上3点を目標に掲げ、介護度の低い方が多いひまわり棟では、1番目の「 楽しく生活できるようにお手伝いします 」 を重点的に、一日一日がイベント毎となるように、職員それぞれが担当の利用者様に対して、どう過ごして頂くか目標を持ってお手伝いしております。 又、同一法人内に医療機関、他・地域密着型サービス等あり、入居者様の希望や必要に応じて、多様なサービスを受け選ぶことができます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームの運営母体の医療法人は医療機関を始め小規模多機能ホーム等の多数の介護サービス事業所を運営しており、災害時等の協力体制が構築されている。また、母体医療機関との24時間の医療連携体制及びホームに看護職員が3名配置されていることから、早期発見や緊急時等における利用者・家族の安心となっている。

・ポニーや山羊が飼われ桜並木もある広い敷地が近隣住民に開放されており、散歩中の利用者との交流の機会になっている。災害時の避難所となっている。

・職員間のコミュニケーションが図られ職員の連携・協力でホームの運営がなされている。職員は自由意見を理事長にノートで提出しており、職員各自のケアや目標を振り返る機会になっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	出勤時に毎回理念を再確認し、その日その日 理念に合った目標を立て業務に当るようにしています。	理念は、創設と共に作成し確認ができるように、玄関やホールに掲げている。出勤のとき見て一日の目標を持って始めるようにしている。毎年振り返りや確認をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、清掃作業に参加し交流を深めると共に運営推進会議や防災訓練等に出席頂いております。	自治会に加入しており、総会に管理者及び職員が出席したり、地域行事や清掃活動に参加し住民と交流している。ホームで飼育している動物の見物に來られた地域住民に挨拶を交わし親しくしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎年 中学生の職場体験や看護科の高校生の実習等受け入れ、若い世代を中心に認知症状の理解を深めてもらい、支援方法等実践を通して伝えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度の頻度にて、利用者様・ご家族・民生委員・行政の方々に参加して頂き開催しています。利用者様の生活の様子を紹介したり、研修で学んだ事で、地域でも活かせるような事を、分かりやすくまとめて伝達講習を行っています。外部からの意見を参考にして、サービス向上に努めています。</p>	<p>運営推進会議でホームから近況報告やヒヤリハット・事故も含めた報告及び意見交換をしている。防災に関する意見が多く出され、災害の時、一時避難施設に指定されている。ホームでの住民受け入れ等について情報発信もしている。災害時の米や水などの備蓄がある。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を中心として、市役所・地域包括支援センター・社会福祉協議会と連携を図りサービス向上に努めながら、協力関係を築けるように取り組んでいます。</p>	<p>運営推進会議や電話で市の担当者と意見交換等を行なう他、市の研修会に参加して連携を図っている。また、生活保護担当者とも報告や相談を行って協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束の無いケアに取り組める様に、拘束の知識・理解を研修会や法人内の勉強会を行い、拘束廃止に努めています。防犯対策の一環として、夜間のみ玄関の施錠を行っています。</p>	<p>法人及びホームで研修を実施している。言葉使いに関して気になることはその場や会議で注意している。日中は玄関の施錠はしておらず、外に出る利用者には気付いた職員が声をかけたり付き添って散歩し、自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の為に、事業所内での勉強会を開催しつつ、普段のケアの中で、不適切なケアがないか全職員で、見直していきます。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立生活支援事業者や成年後見制度の勉強会を開催実施。職員一人ひとりが理解してもらい、活用できる環境作りを行っています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、十分な説明を行いつつ、同意を得た上で結んでいます。話しやすい環境作りの為にも、職員側から声をかけて話しやすい環境を作り、ご家族の不安や疑問を取り除いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱の設置を行いつつ、ご家族面会時やボランティア等の第三者の方々から、積極的に意見をもらい、その意見をミーティングで話し合い、運営推進会議等で検討し、改善点を見出し、サービス向上に努めています。</p>	<p>利用者には日常の中で要望等を聞いている。家族は家族会や面会時に要望等を聞いており、運営推進会議でも意見がでていく。服の取り違いについて、名前確認を徹底する等、支援に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々のカンファレンスや月1回のミーティングを中心に話し合い場を設けると共に、話しを聞き参考にしています。	管理者は職員会議で意見や要望を聞いている。個別相談は、日常的に管理者またはケアマネジャーが受けており、必要時に法人へ報告している。職員からの提案で職員の無理・無駄をなくそうとの意見を貰い取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の人事考課表により、自己評価・管理者の評価を受け、重要な意見として活かしています。 又、基本給のベースUP及びボーナスに反映させています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修・外部の研修への参加をしてもらい、自己研磨に努めてもらうと共に、それを事業所内でも、実践で活かせるように伝達講習及び勉強会を開催して、全職員に周知徹底しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県・大隅地区のグループホーム協議会に所属し交流を図っているが、交流自体少ない。院外の研修を通じてネットワーク作りを行い、サービスの向上に努めていくつもりです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始前・途中であっても、ご本人やご家族のニーズを探りいつでも安心して過ごせるように声を聞き取り組んでいます。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>申し込み時や利用者様への面会時に、ご家族様の意向や相談等傾聴し、親身にに対応する事により、いつまでも良い信頼関係を作っていけるように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>計画作成担当者と受け持ちがアセスメント表を作成し、必要としている支援の見極めを行い、サービスにつなげています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々、一緒に過ごす中で、利用者様を自分の家族として考え、不安・悩み等の意見を聞きだし、共に考え取り組んでいけるように、共感し関係性を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共に支えていく関係を築く為にも、積極的に関わり意見を伺いながら、電話や手紙を書き、より良い関係性を築けるように努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的に外出しつつ、ご家族を始め馴染みの方（ご親族・ご友人）と交流を多くとれるように、面会や外出・泊を勧めています。	友人・知人・家族の面会を奨励したり、家族の協力で墓参り・法事・外食・外泊等に出かけている。職員が行きつけの美容室や買い物・外食・以前住んでいた所へのドライブもしている。年賀状作成や電話取りつき等の支援で関係を継続できるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人ひとりの性格を把握して孤立しない様にしつつ、利用者様同士がいつまでも仲良く関わり支えあえるように、仲をとりもつようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、必要に応じてご家族の相談を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いを聞きながら、ご本人の意向の把握に努めケアを行い、困難な場合は、ご家族にも協力を得て、出来るだけご本人の意向に努める様になっています。	日常のケアや会話の中で本人の思いを把握するように努めている。意思表示の難しい利用者は、家族から聞いたり日常の表情や様子で察知して、思いや意向を把握するようにして、記録し本人の思いに沿うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族を中心にアセスメントを行い定期的にモニタリングを行い、現状のサービスの評価を行い経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間で情報の交換を行い、現状の把握に努めていくと共に、専門職（OT・PT・栄養士）の方から意見等頂いております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	全職員で現状把握を行い、担当者会議を通じて、ご本人・ご家族の希望を聴き取り、それに合わせたプランを作成 プランを全職員が共有しケアに当たっています。	事前に主治医の意見を参考に、担当者会議で本人・家族の希望を基に介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回、見直しは6ヶ月から1年及び状況変化時に実施している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の様子を個別に記録すると共に、申し送りノートを活用し情報を確実に共有しながら、日々のカンファレンスを通じて検討し合い実践しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>様々な状況に対応出来るように柔軟な支援や対応を心掛けて、その都度状況に応じて支援が出来るように努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティア・民生委員を通じて、利用者様が地域で安全に暮らせるように支援していきます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>毎週月曜日に主治医が往診しており、体調等の日々の変化等を報告 適切な医療を受けている。又、ご家族様の希望や意向に添えるように支援しています。</p>	<p>母体の医療機関がかかりつけ医であり、1週間に1回の往診及び24時間の協力体制により適切な医療が受けられるよう支援している。緊急時等はホームで対応し、結果を家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常日頃から、施設内看護師との情報交換を密にして、個別に合った医療を適確に受け健康な状態が保てるように支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>施設内の看護師が主となり、母体の病院関係者と情報交換を行っています。介護職員も毎日面会に行き、医療機関と連携を図っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時を始め、定期的に施設内の看護師がご家族に説明を行い同意を得ています。又、主治医・ご家族の協力を得ながら支援しています。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書ももらっている。状況変化時には家族の意向を確認しながら、要望に沿って支援に取り組んでおり、看取りの事例もある。緊急時は主治医と連携をとっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に勉強会を開催。又、日々のカンファレンスでも、急変や事故発生時対応策を検討し合い、知識及び技術の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、避難訓練を行い 内1回は、消防の方々とも協力を得て実施しています。又、市主催の津波等災害の非難訓練にも参加しています。</p>	<p>夜間想定で1回は消防署立ち会い、1回は自主の避難訓練を実施し、住民の協力を要請している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置している。災害時は食料や水・カンパン・缶詰・カセットコンロ・ライト付きヘルメット等や防災グッズも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様を尊重した言葉掛けやケアに心掛けている。又、トイレや個室に入る際も、ご本人様に断ってから入室するようにしています。	マニュアルを作成し、接遇の研修を実施している。入浴の時は同性介助をしている。さん付けでの呼びかけや排泄失敗時はさりげなく移動を促す等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介護側の主導にならないように、選択が出来る質問式に声をかけて、自由に選択出来るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムを把握し、利用者様ご本人のペースを大切に、その日その日の希望を聞き出し、なるべくその意向に合った支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせ、利用者様ご本人に合った洋服を選択してもらい着用して頂いております。又、毎朝 整容してもらい身だしなみを整え、その人らしく支援するように心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの嗜好に合わせ、好きな物を提供しております。 (お団子やお芋・漬物等) 又、お米をといで貰ったり、漬物の材料となる食べ物を刻んでくれたりと、職員と一緒にいき、楽しみながら準備及びお手伝いして下さっています。	週1回給食会議を開催し利用者の嗜好や食事形態の工夫を行っている。職員と一緒に台拭きやお盆の片付け・季節の野菜の皮むきなどを行っている。行事食やテラスでの食事・誕生日のケーキ等を楽しんでもらうよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに関しては、管理栄養士が作成した献立を用い、助言をいただいています。水分量については、毎日集計を取り、確実に摂取出来るようにご本人の嗜好に合わせ提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行ってもらうと共に、職員が仕上げ磨きのお手伝いをさせて頂き、口内の異常の有無の確認や衛生管理に努めています。又、歯科医の往診の際に、助言も頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表から、パターンを読み取り、適時のトイレ誘導・トイレ内での排泄を促し声掛けを行っています。	排泄パターンを把握し、日中はトイレ誘導や見守りでトイレでの排泄を支援している。夜間は個々の身体状況等を考慮して、トイレ誘導だけでなく、ポータブルトイレ使用や尿取りパットを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別に合った運動を継続すると共に、ご本人に合った水分を摂取して頂くと共に、医師・看護師と相談しつつ、個々に合った下剤・量を調整し活用して、便秘予防策に努めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日・時間等、要望のある方にとっては、希望に添えるように配慮しています。季節や環境に応じた対応を心掛けて入浴を楽しんでもらっています。	基本的に週3回、午前中の入浴を実施している。希望があればいつでも入浴でき、2人介助や同性介助も支援している。嫌がる利用者には、無理強いせず時間を置いて声かけしたり、翌日に入ってもらおうようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人が安心して休めるように、一人ひとりの生活習慣（睡眠リズム等）を把握し、その方に合った生活を営んでいます。又、室温・証明にも注意を払っています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時には、その方がどんな症状であるから、この薬が処方されているんだと理解する様に努めると共に症状の変化にも注意して観察しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴をしっかり把握して、今までの生活と同様な暮らしが出来るように、役割・嗜好品・楽しみを見極め、いつでも気分転換ができるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご希望がある日には、希望に添った場所に、同行外出し気分転換してもらっています。ご家族にも協力を得て外出支援に努めています。	天候の良い日は敷地内を散歩している。行事計画で初詣・花見・相撲見物等に出かけている。その日の利用者の希望でドライブや買い物のお出も支援している。家族と外食や法事・墓参り等で出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分のお金を自由に使える事が心の支えになり、買い物を中心とした外出支援も行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望時には、電話をかけ会話を楽しんで頂く支援をしたり、定期的にここでの生活状況を載せた新聞を送付したり年賀状を出したりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心・安全に生活して頂けるように、環境整備に努めると共に、清潔な環境で生活して頂く為にも、物の整理整頓をしたり掃除を行っています。	中庭に面したホールは明るく、加湿器やエアコンで室内環境が適切に調節され快適で過ごしやすい。ホールからテラスや中庭に出られ、庭の桜や竹林等で季節を感じられる環境である。利用者は、ユニット間を自由に行き来しながらソファ等でゆっくりくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	長椅子や一人掛けのソファへ座ってもらい、利用者様一人ひとりが思い思いに過ごせるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人・ご家族に協力を得ながら利用者様一人ひとりに合った居室作りを行っています。	ベッド・タンスが備えられた居室は、利用者の好み等に応じて自宅からそれぞれ身の回りの物を持ち込んだり、写真等を飾って、落ち着く部屋作りがされている。畳の部屋は掃き出し窓になっており、庭への避難路となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・トイレ・洗面・浴室の場所を明確にして、利用者様が迷う事の無いよう環境作りに努めています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない